

希 望

校長 関川 紀美子

黄色いレンギョウの花が色鮮やかで美しい春。花の季節は心が躍ります。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休校明けの4月6日、進級した2年生から6年生の子どもたちが登校し、7日には21名の新入生が入学し、令和2年度がスタートしました。臨時休校中は保護者や地域の皆様より、子どもたちの安全管理等に多大なご理解とご協力をいただきました。改めて感謝を申し上げます。



例年と異なる年度始めの始業式。およそ1か月ぶりの子どもたちとの再会でした。正直に申しますと、子どもたちはどのような気持ちで登校してくるのだろうか、元気にいつもの姿で登校してくるのだろうかなど、迎える側がドキドキするような、不安と期待の中で子どもたちを迎えました。

着任式では、6年生増田凌大さんが新任教職員に素晴らしい挨拶をしてくれました。また、翌日の入学式では、6年生樋口瑠花さんが新入生に心温まる歓迎の挨拶をしてくれました。最高学年としての素晴らしい姿を見ることができ、とても嬉しく思いました。

学校生活が始まり、2週間が過ぎます。手洗いやうがい、マスク着用等の感染防止に注意をしながら、どの学年の子どもたちも元気に過ごしています。休み時間には体育館でボール遊びをしたり、外に出てブランコに乗ったりなどと、とても楽しそうです。

話は変わりますが、私は始業式に子どもたちに一つのお願いをしました。それは、「進んであいさつをする」ということです。友達、先生、地域の方、学校のお客様など、自分の身近にいる人にあいさつを進んでしてほしいと話しました。あいさつは心と心を結びボンの役割をする。だから、たくさんの人と心のリボンを結んでほしいということ。保護者や地域の皆様にも「進んであいさつ」を子どもたちのお手本としてご協力いただけたら有難いです。よろしくお願ひします。

藤塚小学校では、当たり前前が当たり前前になされ、笑顔で終わる学校を目指したいと思ひます。子どもの具体的な姿は、教育目標の「正しく 明るく たくましく」です。子どもたちが「おはようございます」の声とともに元気に登校し、学習や生活のルールを守って活動しながら少しずつ力を伸ばし、「さようなら」と笑顔で帰っていくことを目指します。年度末には、藤塚小学校でよかったと保護者や地域の皆様と喜び合える学校にしたいと思ひます。

今、美しく咲き誇る「レンギョウ」の花言葉は、「希望」。困難な状況の中でも希望をもち、今年度も子どもたちのよりよい成長に向け、教職員が一丸となって教育活動を推進して参ります。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。